

“地道にコツコツ”と全国500社超の事務所の信頼を集め、**日本最大級の**

「税理士探しのサポートサイト」を構築した男



日本企業支援センター
代表取締役 **丸山 隆之** まるやま たかゆき

1979年、東京都生まれ。高校卒業後、自衛隊に入隊。2002年に長距離トラックのドライバーに転職する。その後、自動車販売ディーラーや営業代行企業を経て、営業ノウハウを身につける。2009年1月に日本企業支援センター株式会社を設立し、代表取締役に就任。2011年2月、日本最大級の税理士総合サイト「T-SHIEN」をオープンする。

日本企業支援センターは、日本最大級の税理士総合サイト「T-SHIEN」を運営し、個人事業主や中小企業の税理士探しをサポートしている。代表取締役の丸山氏は高校卒業後、自衛隊に入隊。「地道にコツコツと物事に取り組み持久力」を身につける一方、自らの実力を外で試したいと起業を決意した。その後、営業代行企業などで多くの経験を積み、営業部長として新規事業の立ち上げを担当。そのノウハウをもとに、2009年1月、日本企業支援センターを起業した。連載第2回目の今回は、丸山氏が「起業」という考えに至った自衛隊での体験について聞いた。

「起業する」きっかけを作った自衛隊での経験

——自衛隊では、どのような仕事をしていたのですか。

自衛隊では、普通科(前線部隊)という部隊に所属していました。仕事の流れとしては、「演習前の準備」、「演習」、「演習後の整備」という3つの事柄を四半期ごとに反復するようなイメージです。

——起業のきっかけとなったのは、具体的にどのような経験だったのですか。

一番の大きなきっかけは、演習の際、ある幹部のドライバーを経験したときのことです。一兵卒として自衛隊に入隊した私にとって、演習時に幹部と行動を共にするなんて、とてもありえないことでした。当時18歳の私にとって「幹部」はまさしく雲の上の存在でした。だから、ドライバーの任務を与えられたときはとても緊張しましたね。任務当日、期待と緊張の中、赤絨毯のうえを独り幹部執務室へ向かった日のことを今でも鮮明に憶えています。その幹部は、演習の勝敗を判断する審判の長でした。ドライバーとして行動を共にする私にとって、その任務は「演習を幹部の視点と第3者視点の双方から見る」ことができる「またとない機会となったのです」。

任務中、幹部が集まる指揮所と呼ばれる作戦室のテントに入ったときのことです。そこは幹部たちが発する激しい怒号と絶え間なく入ってくる無線からの報告で、大変な活気と緊迫感に溢れていました。テントの中央には演習場を俯瞰できる大きな地図が置かれ、各部隊の印である駒が散りばめられていました。担当官が無線から入った情報を元に、本来なら私が所属する部隊の駒を思い

のままに動かし、地図上で本当の「戦争」を繰り広げていたのです。その光景を見たときの衝撃は今でも忘れません。

恥ずかしい話ですが、現場では「なぜこんなキツイ思いをしななければならないのか」と、早く演習が終わることばかり考えていました。そんな私にとって、「勝つ」ために考え行動する幹部の姿は、背筋に電撃が走るくらいの感動だったのです。「こんな世界があるのか」。それ以前の私から180度変わった瞬間でした。

その日から私は、「物事の目的はなんなのか」、「その目的の達成のためにはどうしたら良いか」を考え、行動するようにになりました。そうやって常に目的を模索していくなかで、起業というひとつの行動が生まれました。

お問い合わせはコチラ

0120-955-761

T-SHIEN 検索

www.taxaccounting-shien.com/

日本企業支援センター株式会社

設立/2009年1月

事業内容/会社設立支援事業、中小企業向けの会計事務所の紹介事業、WEB制作、システム開発事業、その他BtoB事業

URL/http://j-shien.co.jp/

